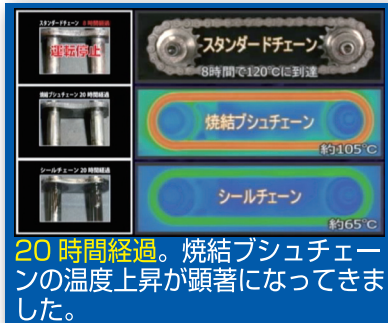
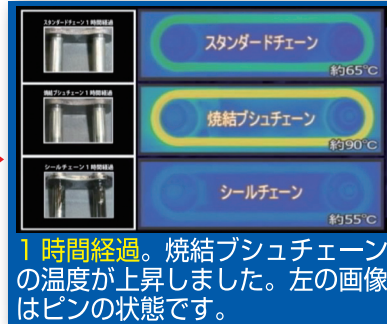
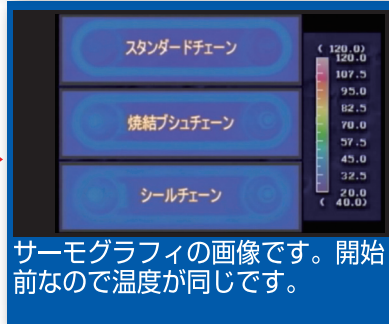
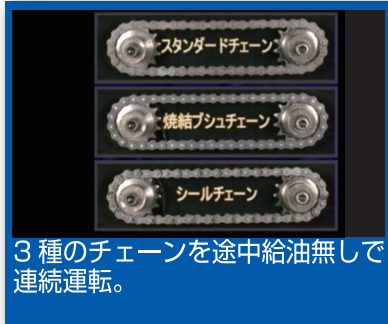


サーモグラフィーを用いた潤滑性能比較

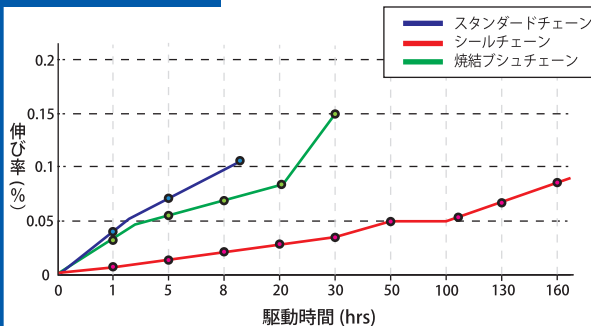
～D.I.D シールチェーンが最強である理由～

チェーンにとって『潤滑油』の有無はチェーンの伸びを大きく左右する重要な要素です。チェーンに油がなくなると、ピン・ブシュ、金属同士がこすれあって発熱します。油分があると発熱しにくく、発熱しはじめると、潤滑効果が無くなりはじめたといえます。その発熱過程をサーモグラフィーによる画像をご覧ください。弊社スタンダードチェーン・焼結ブシュチェーン・シールチェーンを途中給油無しで比較しました。試験条件は下記のとおりです。

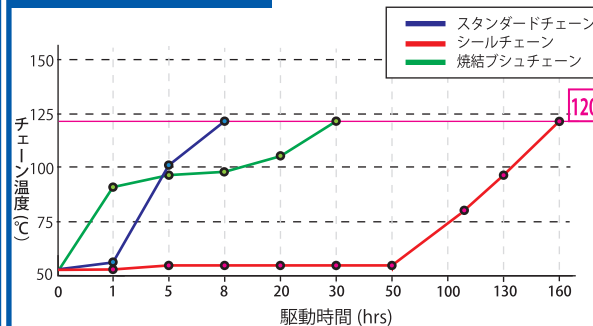
チェーンサイズ：#60	リンク数：48 リンク
スプロケット：15T(1200rpm)×15T	張力：2.45kN
リンク数：48 リンク	スピード：343/min



駆動時間と伸び率



駆動時間とチェーン温度



二つのグラフは駆動時間と「温度」「伸び率」の関係を示しています。見比べていただきますと、二つのグラフは酷似しており、相関関係にあることがおわかりいただけるかと思えます。

シールチェーンはグリースが密封構造のため、耐摩耗性能が非常に優れています。ピン・ブシュ間にグリースを封入しているシールチェーンは常に潤滑状態にあり温度の上昇でおこる摩耗を極限まで抑制します。潤滑油は『第5の部品』といえる重要な役割を担っており、メンテナンスがしにくい使用条件や環境下において抜群の耐久性をお約束します。

D.I.D. 大同工業株式会社

お問い合わせ TEL (03) 3808-0785 (代) FAX (03) 5695-7146